



## ●大学入試トピックス

### ① 2025年度大学入学者選抜実施要項公表 (駿台予備校HP「大学入試情報」の記事より抜粋)

6月5日付で、文部科学省は2025年度大学入学者選抜実施要項を公表しました。各大学は、この実施要項に基づき大学入学者選抜を実施します。大学入学共通テストの実施期日は本試験が2025年1月18日、19日、追試験が本試験の1週間後の1月25日、1月26日と発表されました。新型コロナウイルス感染症が拡大した2021年度以降、追試験は本試験の2週間後に実施されていましたが、それ以前までの本試験の1週間後実施に戻ることとなります。その他の日程については基本的に前年度と同様の日程となっています。

### ② 地元大学の入学者選抜にかかる変更点～各大学の入試説明会の復伝

#### 【山口大学】

- ・「ひと・まち未来共創学環」について(2025年4月新設予定):定員40名→内訳:前期24名、後期8名、推薦I(共テなし推薦)8名
- ・それに伴い、教育学部の定員が180名から155名へ(-25名)、経済学部の定員が345名から330名(-15名)へと変更
- ・「教育学部小学校教育コース心理学選修」が今年度より募集停止

#### 【山口県立大学】

- ・「情報社会学科」について(2025年4月新設予定):定員40名→内訳:前期12名、後期3名、総合型5名、推薦20名(県内枠12名、他)
- ・国際文化学部と社会福祉学部において、総合型選抜を実施。出願要件に評定平均あり。

#### 【下関市立大学】

- ・「データサイエンス学部」について(2024年4月新設)定員80名→内訳:前期35名、後期15名、地域推薦15名、全国推薦15名
- ・「看護学部」について(2025年4月新設予定):定員80名→内訳:前期35名、後期8名、地域推薦23名、全国推薦12名、他2名

#### 【山陽小野田市立山口東京理科大学】

- ・「工学部医薬工学科」について(2024年4月新設):定員60名→内訳:前期20名、中期5名、推薦30名、総合型(共テ有)5名
- ・医療保健学部(仮称)を2029年4月に開設予定(詳細は未定):臨床工学技士、診療放射線技師、理学療法士を育成

#### 【山口学芸大学】

- ・公募制推薦が専願から併願可に変更

## ●いよいよ動き始める入試～総合型選抜、学校推薦型選抜

### 資料1 近隣大学の総合型選抜(共テを課さない方式)の日程

大学名	出願期間	試験日	合格発表日
山口大	9/1~9/4	9/25~27	11/1
山口県立大	9/10~9/19	10/12	11/1
周南公立大	9/12~9/22	10/14	11/1
北九州市立大	9/2~9/6	(一次)9/22	11/1

※各大学の募集要項で最終確認してください。

### 資料2 学校推薦型選抜の校内選考日程

8月1日(木):推薦希望調査票 提出締切
8月下旬:学校面接(対象者のみ)
8月29日(木)・30日(金):実力テスト5教科(範囲は発表済み)
9月2日(月)~13日(金):学校推薦型選抜の校内選考
〔大学〕○実力テスト300点分(※実力テストの点数には基準点あり) ○調査書100点 ○競合の場合のみ、学校面接50点 〔短大・専門学校〕○実力テスト200点 ○調査書100点
以上の総合評価で選考
※ 国公立大学の推薦希望者は、出願人数に制限があり競合した場合のみ 実力テスト(300点分)の得点を選考に用いる。
9月18日(火)校内選考(第一次選考)結果発表
9月24日(火)第2回推薦希望調査票 提出(第1次選考で未決定の大学のみ)
9月30日(月)校内選考(第二次選考)結果発表(早まる場合もある) 以後、希望者のいない大学への希望については先着順で校内選考する

また、学校推薦型選抜の校内選考が9月に行われます。学校推薦型選抜の校内選考の日程を、資料2で示しています。詳細は4月に配布した保護者宛文書で発表していますので、必ずそちらで確認してください。

## ●先輩の合格体験記

共テを課さない総合型選抜で合格した先輩の体験記の一部抜粋を掲載しています

山口大学教育学部 (中高一貫コース卒業)	山口大学経済学部 (アドバンスコース卒業)	山口大学工学部 (グローバルコース卒業)
<b>【後輩へのメッセージ】</b>	<b>【後輩へのメッセージ】</b>	<b>【後輩へのメッセージ】</b>
受験会場に入ってから試験が始まるまでの間は、これまでとは比べ物にならないほど緊張することになると思います。そんな時、落ち着くために必要なのは、「自分に自信を持つこと」です。今の自分の中に「これだけには他の誰にも負けない」と胸を張って言えるものではありませんか？ 皆さんにはぜひ、自信に繋がるものを持ち、それを信じて頑張ってほしいです。最後の最後に頼ることができるのは自分自身です。	自分の将来や就きたい職業を大まかにでも決めていると、何に力を入れるべきか見えてきて、明確な目的意識をもって行動することができます。【校外活動で頑張ったこと】私はICTlabに所属し、高校生ICTコンテストや、ショートムービーコンテストに参加しました。最近はデジタル技術を使える人が、文系理系問わず大学でも重宝されています。結果としてICTlabでの経験が大学進学に役立ちました。総合型選抜や学校推薦型選抜を希望する人は、自分の進路に合った校外活動をすることをお勧めします。	とにかく勉強を頑張れば良いと思いません。とは言いつつも私の高校生活の中心は部活でした。なので、メリハリを大切にしてきました。疲れて集中できないときはすぐに寝る、でもやる時はやるみたいな感じで。グローバルコースなら部活している人が多いと思うので、個人的にこのことは大事だと思います。
<b>【校外活動で頑張ったこと】</b>	<b>【校外活動で頑張ったこと】</b>	<b>【学校生活や部活動で頑張ったこと】</b>
1・2年生の間はあまり積極的に校外活動に参加することはありませんでした。しかし、3年生の春休みから夏休みの半ばにかけて、様々なボランティア活動に参加しました。それらの活動を通して、自分の中にたくさんの引き出しができ、自分の自信にも繋がったので、とても良かったと思います。	講義等脳能力理解試験の対策のために先生方を集団討論しました。討論の練習になるだけでなく、先生方の知識や考え方を知ることが出来、本番の試験に役立きました。	生徒会活動、進路のための勉強、部活動それぞれに力を入れてきました。生徒会活動では、オープンキャンパスのMCや体育祭の実行委員長をしました。さらに進路のための学習では、夢ナビやプレーバークへ参加しました。どちらも部活動とのバランスをとりながら参加しました。顧問と担任の先生と連携を取りながら、主体的に行動することができました。

## ●夏の受験勉強計画(3年生対象)

(旺文社『螢雪時代 2024年7月号』の記事から抜粋)

受験生にとっては重要な“勝負の時期”となる夏休み。学力を大きく底上げし、大学合格にグッと近づきたいところです。するために、「何を」「どのように」学習すればいいのか？ この夏の飛躍を実現するための重要ポイントをアドバイスします。

英語編 【苦手 or 遅れている人】	数学編 【苦手 or 遅れている人】	国語編 【苦手 or 遅れている人】
1学期中の課題は、基礎的な語彙力・文法力をつけること。語彙力は、共テ英文中に知らない単語が無い状態を目指し、単語帳にある標準的な単語を何周も反復して覚えよう。文法は、細かい知識は後回しにして、文型・準動詞・関係詞など英文の構造に関わる部分の理解に重点を置く。夏休みはこれらの力を完成させつつ、まとまった量の英文を読む練習をしよう。	1学期中に全範囲の重要事項について知識の穴を補つておこう(理系受験生の数Ⅲ微分法については、未習の場合でも計算方法だけは全部覚えておきたい)。夏休み中には典型問題の演習を多くこなし、時間制限がないなら共テで安定して7割は組えるところまで学力を引き上げたい。繰り返し間違える箇所は理解不足が原因なので、慣れに頼らず考え方をじっくり見直すと良い。	現代文は、要点に傍線を引いて本文を整理する読み方ができ、共テレベルの問題集を解けるところまで到達したい。古文・漢文は、夏休み終了までに知識事項を獲得すること。古文文法は助動詞と敬語、古文単語は最重要～重要単語をひと通り終わらせよう。漢文はTOP2の基本構文と再読・返読文字の知識、基本的な句形と100語程度の語彙を短文式ドリルなどでマスターする。
<b>【得意 or 順調な人】</b>	<b>【得意 or 順調な人】</b>	<b>【得意 or 順調な人】</b>
1学期の課題は、文法や語彙の知識を完成されること。本格的な読解の学習に入る際に、文法の理解や語彙力が不足していると、学習効率に悪影響を及ぼすからだ。夏休みは「1日1長文」を目標に、多くの英文に接するとともに、英文の中で出合った語句を覚えていく。夏休み終了時に志望校の過去問を解き、時間制限がなければ合格ラインに達するレベルを目標にしよう。	1学期中に全範囲の典型問題をマスターし、過去問レベルの少し難しめの問題集にも取り組んで解法の幅を広げよう。理解した内容は解法ノートにまとめておくこと。夏休みは過去問を使って時間制限付きの実戦演習を増やし、粗削りでよいので試験での得点感覚を磨こう。解けなかつた問題は「理解不足なのか？」、「思考プロセスに問題があるのか？」など、じっくり分析することが重要だ。	2025年の共テは実用的文章が導入されるので、従来通りに実施される4分野については早めに仕上げたい。「共テやセンター試験の過去問で8割得点」を、夏休み中に実現できれば理想的だ。夏休み後半からは志望校の過去問演習に取りかかるように、問題集などを用いて1学期中に習得した知識を整理し、復習として要約や現代語訳を励行して記述力を養成してみたい。

## ●夢ナビライブに参加(1・2年生)

夢ナビ(ユメナビ)とは、大学教員による30分の「学問の講義ライブ」を視聴することで、自身の関心に関連する学問を知ることができます。1つ1つの講義が大学の専門的な学問の内容ですので、1冊の本を読んで知識を得るよりも簡単に、数多くの専門的な学問探究を深めることができます。自らの志望学問を決める上でも、また、志望学問が決まっている人にとっては、小論文や面接試験の対策として必要な知識を得る上で、非常に有用な機会です。

※10月19日(土)に、講義を担当した大学教員とオンラインで直接コミュニケーションをとる機会があります。



## 8月の進学スケジュール

1日(木) 高校登校日
第2回進路希望調査票提出(Ⅲ)
7日(水) 面接マナー講座(Ⅲ希)
19日(月) IS 登校日
19日(月)・20日(火) 全統記述模試(Ⅲ希)
19日(月)~22日(木) 夏期課外【後半】
19日(月)~27日(火) 推薦入試校内選考 学校面接
28日(水) 始業式
29日(木)・30(金) 実力テスト(Ⅲ)